

令和4年9月教育委員会会議事録

1 開催日時及び場所

令和4年9月26日（月） 午後 1時15分～午後 2時25分
中土佐町庁舎 1階 大会議室

2 出席者

教育長	岡村 光幸	
教育委員	1 番委員	濱田 貴代
	2 番委員	中沢 建夫（欠席）
	3 番委員	高橋 雅人
	4 番委員	下村 麻衣子
事務局	次長	多田 昭介

3 議事録

開 会

（岡村教育長） それでは、ただいまより9月定例教育委員会を開催いたします。

本日、中沢委員からの、先ほど見えていたんですけども、体調か何かの関係でちょっと欠席をしたいということでしたので、また、それを了承しましたので、本日3名の教育委員さんと私の4名ですけれども、定例教育委員会を始めます。よろしくお願いいたします。

日程第1 前回会議録の承認

（岡村教育長） まず、前回の会議録の承認からですけれども、お手元にあると思いますが、何か訂正とかございますでしょうか。

（岡村教育長） 前回の会議録について、ほかにご意見とか訂正ございませんでしょうか。

（「はい」の声あり）

（岡村教育長） ないようでしたら、前回の会議録は承認していただけますでしょうか。

（「はい」の声あり）

（岡村教育長） ありがとうございました。

前回会議録は承認されたものといたします。

日程第2 本会議録署名人の指名

（岡村教育長） 日程第2、本会議録署名人の指名についてですけれども、冒頭で申し上げましたとおり、中沢委員が欠席となっておりますので、本日は濱田委員と下村委員ということでお願いしたいんですが、よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

（岡村教育長） それでは、本会議録の署名人は、濱田委員と下村委員に指名をいたします。よろしくお願いいたします。

日程第3 報告

（岡村教育長） 続きまして、日程第3、報告及び協議に移りたいと思います。

1 行事等報告

(岡村教育長) まず、2ページをお開けください。

まず、行事等報告ですけれども、9月6日、定例校長会、それから支援を要する児童・生徒の情報交換会を行いました。

9月7日、9月議会が開会され、14日、15日に一般質問、17日に議案審議を行って、休会となっております。

9月9日、10日、久礼八幡宮大祭がありました。若干縮小ぎみではありましたが、花火大会とか、それからお店も出すことができました。ただ、ご存じのとおり、久礼八と雨は付き物ですけれども、花火のときに限って一時雨が降りました。

それから、9月12日の月曜日、町の研究主任会が行われました。主に全国学力学習状況調査の分析と今後の対策について話し合いが行われました。

9月16日の夜ですけれども、上ノ加江保育所の保護者会を上ノ加江公民館で行いました。3歳児の保護者と5歳児の保護者に集まっていただきました。これについては、また後ほど報告・協議をしたいと思います。

9月20日、久礼中学校、大野見小・中学校の体育祭が行われました。

9月22日、久礼の川崎電工の林社長が50周年記念ということで、町内の小・中学校に50万円寄附をしていただきました。使い道につきましては、各学校に希望を取って、現在集計をして、見積りを今依頼しているところです。

それから9月26日、本日ですけれども、9月の定例教育委員会となっております。

2 行事等予定

(岡村教育長) それから、2番、行事等予定につきましては、10月5日、中土佐町の戦没者追悼式が行われます。

10月6日、町内の保育所長会。

11日、町立美術館基本設計プロポーザル審査があります。現在、4社が手を挙げてくれています。これによって基本設計の業者が決まります。

それから、10月12日水曜日、定例の校長会。

10月13日、人権尊重のまちづくり推進審議会。

それから、10月17日、町村教育長会秋季研修会が東部の田野町で行われます。私のほうが参加する予定です。

10月27日、地域学校協働本部事業中部ブロック研修会が大野見小・中学校であります。また、お構いなければご案内も差し上げますので、よろしくお願いします。大野見小・中学校の発表もあるんですけれども、メインは研修会の会場になるということです。

それから、10月27日、28日、全国社会教育委員連絡協議会が広島県であります。町の社会教育委員長、竹上定昭さんですけれども、県の社会教育委員長になりまして、この会に参加することになっています。

それから、10月28日から30日まで、中土佐町総合文化展が町民交流会館であります。いわゆる町展と言われているものです。

それから、10月31日、町内の小学生の陸上記録会が大野見中学校のグラウンドで行われます。

以上が行事等予定になります。

続けて、構いませんか。

3 上ノ加江保育所について

(岡村教育長) 上ノ加江保育所についてですけれども、3ページをお開けください。

先ほど、9月16日に上ノ加江保育所の保護者をしたというお話をしましたけれども、そこで使った資料です。上側が現在保育所に通所している子供の数と小学校に通学している数を年ごとにまとめたものです。

一番上の端のR4が令和4年度です。現在、保育所は3歳児が4人と5歳児が6人の計10名です。ゼロ歳児とか1歳児は久礼の保育所へ通っている子もいますけれども、上保に通っているのはこの10名だけです。

右側が上ノ加江小学校の人数です。小学校1年から5人、3人、3人、2人、5人、5人の計23人です。当然、このまま転出入がなければ、1年ずつ右へ繰り上がっていきます。

令和5年度、来年度になると、今の6年6人が卒園しますので、何と4人だけになってしまいます。今後どうしますかということで、保護者と今2回目の会議が終わったところです。

年長組を入れたのは、今後、この人数がずっと続いていくと、今の年長、5歳児が6人いるんですけれども、この6人が小学校に在学中に、今のままいくと統合とか休校の判断というか、決断をどこかでしないといけないということになりますので、年長組の保護者にも集まってもらって話をしています。

令和5年度、令和6年度とも、4歳児、5歳児に今の4人になるんですけれども、4人だけなんですね。基本的には、下の端に書いていますけれども、保育所だけでなく、小・中学校での児童・生徒数10人以下になると、社会性の育成と教育上の効果が発揮されにくいと考えられるので、今後の在り方について話し合いを行うとしております。要するに、休校にするのか統合するのとか、そういう話し合いを前もってしていくということです。

当然、保護者も今のままでは、通学する児童がいなくなることは分かっているんですけれども、ただ、急に来年から休校しますとかとなると、えーつみたいになってくるので、今後こういったことが考えられるということでの説明をしました。

それでいくと、まず、保育所が4人になってしまうということで、保護者の意見も聞きながら進めていかんといかんところなんですけれども、おおむねやっぱり大勢の人数で保育も教育もしてもらったほうがいいという意見が大勢を占めているという印象でした。中には、やっぱり最後まで行きたいとかという家庭もあったんですけれども、特に何が何でも保育所も小学校も置いておけという感じではなかったです。

今後、詳細については詰めていく必要がありますが、まだまだ複数回、話し合いは持たんといかんと思います。

問題は、保育所の場合は、先ほどの報告にもあったように、働いている家庭が安心して子供を預けられるという、そこに尽きるわけですね。そうしたら、安心して預けられるということは、上ノ加江で預かって、久礼で保育するという、そんな一つの方法も、簡単ではないんですけれども取れるんですね。あるいは、親が久礼保まで乗せてきてもらったら一番いいんですけれども、それも何か今後の話し合いで要求があれば、この4人に1年ないし2年間に限って通園バスを出すとか、そういったことは可能だと思います。

最低3人職員を置かないといけないんですよ。園長、それから保育士、給食を担当する職員。

(「調理員」の声あり)

(岡村教育長) そう調理員を置かんといかんですね。だから、最低3人置くことを考

えると、バスを出すほうが経済的にはいいというような判断もあります。

話がややこしいのは、もしそうになって、久礼保に行くとなると、久礼保に行くようになった4人は、友達が久礼小に行くので、僕も私もやっぱり久礼小に行きたい、これは普通の感情だと思うんです。そうなってくると、ここに書いてある令和7年度の4人の入学生がひょっと入ってこない可能性がある。そうすると、さっき言った6人、今の年長さんの6人が小学校3年生になったときには、3、4年生と5、6年生の2学級になってしまう。

だから、ここら辺からは、いよいよ本格的に久礼小への統合とかということを考えないかんということになってきます。これはあくまでも4人が入学ということ考えているんですけども、既に久礼のほうで家を探しているとかという家庭もあって、若干小学校の人数も減っていく可能性もあります。

今そういう状況ですよということでの主に説明ということになります。

何かご意見とかありますかと意見交換の場を設けたんですけども、特には、こうしてほしい、ああしてほしいという意見は、その場では出なかったです。

今後、私なり次長なり、あるいはうちの職員の川添が保育担当ですので、そこへ連絡してもらってもいいし、保育所の所長に話をしてもらってもいいので、またご意見をくださいということで、この日は終わっています。

非常に人数的には厳しいです。菱高精機が大野見へ上がるという話も出ているし、かど福祉会が今度どこかへ移転したいということもあるし、その1年前には、上中が久礼中へ統合したばかりです。本当にどんどん地域が寂しくなるということで、本当に悩んでいます。

保育所の場合もそうなんですが、保護者がオーケーとなれば久礼保への統合又は休所できないことはないんですが、小学校に影響するとなると、やっぱり地域の人の意見とか、そういったところもまた参考にしながら進めていかないといけないし、町民も含めて、お知らせする必要があるということで、ちょっと早めに、こういうふうに対応しています。

今後、それぞれの地区である地区懇、行政懇談会等でも、私のほうから説明をしていきたいというふうに考えています。

いずれにしても、令和10年には6年生だけになる可能性が出てくる、今そういうところまで、保育所のほうでは話を進めています。

(岡村教育長) このことについて、報告及び協議ということになっていますけれども、また何かご意見があったら、あるいはご質問等あれば、お願いしたいんですけども。

(濱田委員) 最終決定というか、これは来年度、もし、久礼とつなぐ可能性が大きいですか。

(「はい」の声あり)

(高橋委員) その最終決定は大体いつ頃。

(岡村教育長) 1月までにはしたいですね。保育士採用のこととか、職員の配置の問題とかあるし、それから、もしバス出してくれとかという要求があった場合は、早くしないとなかなかバスの運転手さんの確保が難しいことも考えられます。いや、構わん、親が乗せていくということであれば全然問題ないんですけども。

子供4人に職員3人というのは、それはちょっと厳しいと思っています。それと、保育士も今、久礼保が随分足りていないんですよ、実際。会計年度任用職員で時間を埋めてもらうような方向でやっているんですけども、そこへ3人正職員が来るとなると、それは随分違ってきます。

高橋委員いいですか。

(高橋委員) 厳しいですね。

(岡村教育長) 厳しいです、本当に厳しい。上ノ加江、本当に厳しいです。

幸いというか、トンネルが抜けて距離的にはすごく近くなったので、10分ぐらいなんです。どっちにしろ、今後、小学校もそうなってくると、やっぱり今、小・中学生にバスを出していますのでね。

では、ほかによろしいですか。

はい、お願いします。

(下村委員) 今、可能かとか出てきたので、話の中にもあったんですが、スクールバスの運営について、久礼に限らず、中土佐町内で運行しているバスについての安全対策というのは、今どのようにされているんですか。

(岡村教育長) 最初に、バスを運行するに当たって、保護者と話し合いして、これで行こうというところまでいったんですけども、なかなか、もし例えば地震になったらどうするとか、途中で具合が悪い子ができたらどうするとかという話もあったりして。ただ、10分という非常に短い行程ということと、それから地震になったら、途中途中で高台があるので、5分ないし10分、10分はちょっと厳しいかもしれんけれども5分ぐらいの余裕があるので、その間に移動するとか、幸い近くはすぐ山なんですよね、そこへ上がっていくとかというような形で対応すると。

それから、小・中学生の場合は自分で判断ができる。今回は中学生だけでしたけれども、中学生の場合は自分で判断ができるので、保護者とか、そのほかの第三者、車掌さんのような人とか先生とかを同乗させなくても、子供と運転手だけで運行するというような形で協議が終了したので、それでやっている。

ところが、保育所の場合はそうはいかないです。これは必ず第三者といいますか、保護者か保育士をつける決まり。今も旧の久礼保から新の久礼保まで運行しているんですけども、ここは必ず保護者同伴なんです。シートには全部チャイルドシートをつけて、保護者も同伴で運行すると。だから、保護者と子供を旧の久礼保で乗せて、久礼保へ行って、久礼保で荷物を降ろして、月曜と金曜はお布団とかあるので、それでまた親がバスに乗って、旧の久礼保まで帰ってくる。

上ノ加江からになるとそうはいかないと思うので、今度は、早出の保育士を乗せるか何かを考えんといけない。もちろん保護者が代わりばんこに乗ってくれるんだったらいいけれども、1人で4人見んといかんがで、なかなか保護者には厳しいかも。これは話し合いにもよるんですけども、保育士になるだろうなどは予測しています。

事件がありましたよね、降ろし忘れとか。これはちょっと論外な話で、それは絶対ないように、もちろん久礼保の保育所とも協議して、それから運転手ももちろんそういう教育とか研修し直して、当然運行するという。

それから、まだ確定はしていないんですけども、今、スクールバス、特に小さい子供さんが乗るスクールバスには、バスの後ろの端に、ロックをする前にブザーが鳴って、その座席を通過して後ろの端まで行ってボタンを押さんとそのブザーが消えないような装置をつけるというような話が今されています。もし、それが法律とか、あるいは義務化されたら、当然そういった装置もつけるようにはなると思います。

(下村委員) 保育園によっては、園児さんにクラクションを鳴らす教育をしているようなところもありますよね。

(岡村教育長) いずれにしても、早くても5年、遅くても6年先の1年から2年の間だけなので、上ノ加江から久礼まで保育園児を送るのは、バス自体にそういう改造が行われたら、少しはというか、大分そういう可能性は減るんじゃないかなとは思いますが。

(下村委員) ああいう事故にならなくても、結構全国的に、ヒヤリハットじゃないですけども、一歩手前というような事案はすごく多いようなので、ヒューマンエラーというのは必ず起こるという前提ですよね。何か仕組みとして対策しないと。起こってからじ

や遅いです。

(岡村教育長) 子供の数と今保育士の数で言うと、1人当たりの子供の数は、大都会というか、高知市内に比べてもぐっと少ないんですよ、1人の保育士が見る。例えば、バスが着いたら、必ず中から1人保育士が来て、子供を確認して降ろすとか、あるいは当然同乗しますので、基本的には、保育の場合はね。だから2年間はそれをやっていく。

小・中学校の場合です。中学生はさすがにちょっと勘弁してもらいたいですけれども、小学生の低学年、低学年だけで乗るということも年に1回か2回あると思うんです、上級生が修学旅行でおらんとか遠足でおらんとか、何かのときには。そういった場合には、やっぱり特別な手だて、学校から先生が見に必ずバスのところまで出てくると。

今、出席の管理は、全部パソコン上でやるようになっていきます。自分もほぼ毎日、全部の小・中学校の出欠を見えています。そういった例えば業務として、うちの職員に誰かに確認をさせるとか、学校でも当然確認するけれどもとか、二重三重のやっぱり安全対策はしていく必要があると。

(多田教育次長) 実際、今、教育長言われましたけれども、旧の保育所、こどもセンターから現在の保育所まで、事情がある方だけに絞り込んで送迎を行っております。

8人乗りのマイクロで送迎してるところですが、今運転手さんがちょっと確保できず、教育委員会の職員が毎日交代で行っています。何とか10月からは正式に雇えるようになったんですが、それぐらいの人数でしたら、必ずお母さんに同乗してもらっています。子供さんを横に、シートに座らせて行きますので、職員が確認しますし、親御さんが降ろして、また保護者の方をも積んで、子どもセンター前まで送り届けています。

ただ、これが、この前の事故があったみたい、大人数になった場合、子供さんだけを積んでいくというやり方というのは危険性があると思います。今の想定では、親御さんが必ず乗っていただくとか、今後、今教育長が言われましたけれども、重々気をつけて、事故を起こさないような対策を考えていきたいと思っています。

(濱田委員) まだチャイルドシートが必要な年齢ですか。

(多田教育次長) そうです、全員つけてもうてます。はい。

(高橋委員) チャイルドシートは親御さんの持ち物ですか。

(多田教育次長) いいえ。

(下村委員) 指定のシートですか。

(多田教育次長) はい、教育委員会のほうで準備しています。

上ノ加江保育所の件につきましては、また今後ともご意見もいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

3番の報告及び協議は以上でございます。

日程第4 その他

(多田教育次長) その他の部分につきましては、今回、事務局のほうからはございませんので、まず、次回の日程をちょっと調整させていただきたいです。

10月の末、どうでしょう、26、20日なんかは。

(高橋委員) ごめんなさい、私、10月24日から28日まで、神奈川県へ出張なんです。その週ずらしてもらえればありがたいんですけども。

(高橋委員) 31日でお願いできますか。

(岡村教育長) 構いませんか。

(「はい」の声あり)

(岡村教育長) では、次回は10月31日月曜日、時間は今と同じ時間でよろしいですか。

(「はい」の声あり)

(岡村教育長) 午前中は陸上記録会があるので、また13時15分からということでお願いします。

以上です。

閉 会

(岡村教育長) それでは、以上をもちまして9月定例教育委員会を終了いたします。
どうもありがとうございました。

上記は会議の次第を記したものであり、事実と相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和4年10月31日

教育長 岡村 光幸

委員 瀬田 貴代

委員 下村 麻衣子